



2017年5月22日

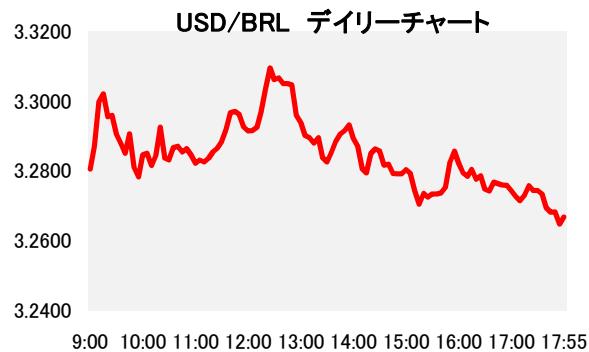
**Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**  
Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

		5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0970	3.1390	3.3760	3.2540	3.2670 +0.0130
	BRL/JPY	Spot	36.52	35.30	33.03	34.18	34.07 -0.11
	EUR/USD	Spot	1.1084	1.1160	1.1103	1.1206	1.1241 +0.0035
	USD/JPY	Spot	113.10	110.80	111.51	111.26	111.27 +0.01
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.264	9.288	10.309	9.899	9.912 +0.013
	Future	1Year(p.a.)	8.769	8.780	10.170	9.704	9.792 +0.088
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.940	1.942	1.929	2.201	2.131 -0.070
	USD	1Year(p.a.)	2.054	2.078	2.099	2.381	2.306 -0.075
株式	Bovespa指数		68685	67540	61597	62639	61673 -966
CDS	CDS Brazil 5y		196.94	206.09	265.74	247.04	249.13 +2.09
商品	CRB指数		182.140	183.244	182.507	185.077	186.073 +1.00

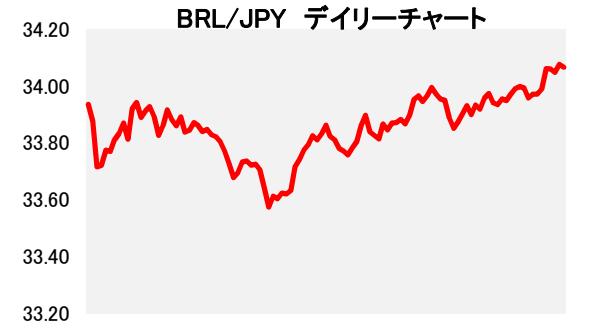
\*これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要經濟指標



### 3.要人コメント

ゴールドファイン 伯中銀総裁	伯中銀は流動性を維持するために必要に応じてレアル相場に関与する。
-------------------	----------------------------------



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.2680で寄り付いた後、一気に売りが優勢となり3.30台前半まで下落。その後、伯中銀が4億ドルのドル売りリップオフポジションをロールオーバーしたことにより、新規で20億ドルのスワップ介入を実施。これらのドル売り介入によりレアルは一時的に3.28台まで買い戻された。正午過ぎには日中安値となる3.3170まで急落したが、その後は買戻しが進み、日中高値となる3.2640まで上昇。結局3.2670でクローズ。
  - 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.50%、2018年は2.50%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.93%から3.92%へ、2018年は4.36%から4.34%へそれぞれ下方修正された。為替レートは2017年末が3.25から3.23へレアル高方向へ修正、2018年末は3.36に据え置かれた。
  - WTI原油先物が4日続伸。1カ月振りの高値で引けた。サウジアラビアが減産に参加している全産油国が2018年第1四半期末までの減産延長で合意したことなどを背景。
  - ボベスバ指数は1.54%下落。素材銘柄以外全てが下落する展開となつた。中でも不動産銘柄は5%弱下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の価値を制約する法令が存在する地域の方々に利用されることは意図しておりません。当資料内にかかる情報又是意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧説又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてのお客様自身でご判断下さいますが、必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更されることがありますので、ご了承ください。また、当行の子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者へ個人顧客へは一般投資家への配布や販売することはできません。